

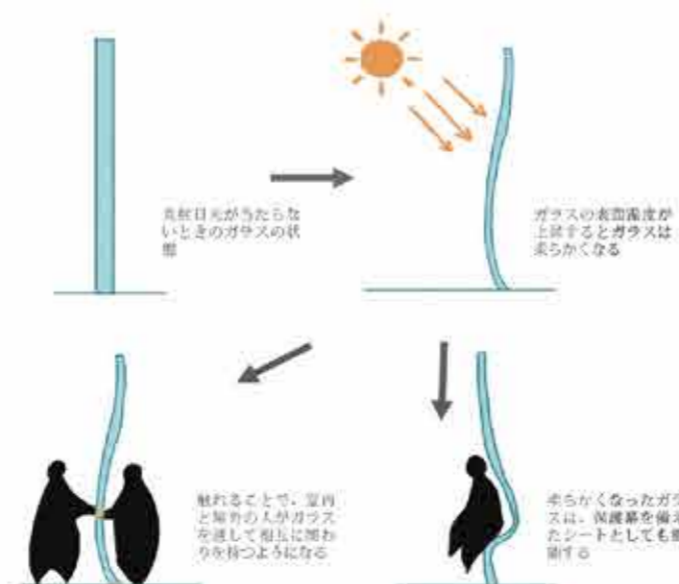
やわらかいガラス



concept

流行後、人々は家で仕事をする傾向が強くなり、流行の原因で交際も少なくなった。長時間家にいることは、心理状態に悪影響を及ぼす。社会の発展に従って人々の居住空間はますます快適になり、人々はますます独立し、ますます外出したくない。しかし、人間である私たちは、インターネットと自分だけの生活の中で生きてはならない。幸福な空間は幸福な社会であるべきだ。

これは柔らかくなったガラスですが、気温の変化に伴って、太陽の温度が22度以上になると、ガラスが柔らかくなってきて、柔らかい質感が触れる冲働を起します。興味深いことに、室内の人が柔らかいガラスに触れると透明度が変化(透明度の低下)するためには、外部に到達するか、外部の人がこのガラスに触れることで透明度が復元される。屋外の人や屋内の人は、この温度のあるソフトガラスを通して、相手に触れることができます。



ガラスの椅子

もちろんこのガラスは公共の椅子としても存在し、柔らかくなったガラスは椅子のように崩れてしまった。ガラスはその間、人と人との間の保護や仕切りをすることなく、人と人との間の距離を縮めていった。

隔離室のガラス

このガラスは患者を隔離するのにも使われています。なぜなら、家族は冷たいガラス越しに患者を見ているだけですが、この柔らかいガラスは紙のようなものに触れています。相手の温度も感じられる。

